

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	一人ひとりの尊重とプライバシーを重んじたケアの実践	入居者が不快にならない言葉使いする。プライバシーやプライドに配慮して、安心して生きがいを持って生活を送ることが出来る	馴れ馴れしい呼び方や、ケアが重なって語気が強くなる場面がみられた時は、職員同士で声を掛け合い、注意し合える環境にする。両ユニット間での協力の機会を増やし、サポートを行う	1 ヶ月
2	26	チームでより良い介護計画の作成に取り組む	ケアの見直しを行い、自立支援に繋がらないケア等を再評価する。業務の「見える化」を図りケアの標準化や勤務シフトの見直しに活かす	「24時間シート」を活用して、更に詳細なケア内容を作成予定である。全職員に現在の業務内容やタイムスケジュールの確認を行い集約した上で、業務の見直しや、ケアの標準化に活かしていく	3 ヶ月
3	40	食事に楽しみを持つことができる	手作り料理の継続。家庭菜園や調理への参加など食べるだけでなく、作ることから楽しみややりがいを持つことができる	人員体制を整え、手作り調理の機会を増やしていく。3食の食事の他に、おやつにも手作りを増やしていく。家庭菜園の充実を図り、収穫の楽しみを味わう	3 ヶ月
4	2	地域との交流を深めていく	地域の方が参加しやすい行事などを企画して、イベントと一緒に楽しむ機会を増やす。気軽にホームに来ていただけるように努めていく	秋祭りや、もちつき大会などを開催して、地域の方への参加を呼びかける。	12 ヶ月
5					ヶ月